

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
6 7	1 行書の書き方 を学ぼう 8時間	行書の特徴である、 点画の省略 筆順の変化 を理解し、それを意識して書く。 ・楷書と行書の「調和」の比較 ・行書「調和」 ・行書「紅花」 行書の部分の特徴を確かめながら さまざまな文字を書く。 行書の特徴を意識して、配列よく 書く。					●	点画を省略するとき・筆順が変 化するときの筆使いを理解し ている。
9 11	2 行書に仮名を 交えて書こう 8時間	・行書「夕映えの空」 行書に調和する仮名の筆使いの 特徴を理解する。 ・「いろは歌」 行書に調和する仮名の特徴を意識 して小筆で書く。 ・「平家物語」 行書と仮名の調和を意識して字形 の整え方に注意して書く。	●				●	行書の部分の書き方を意識的 に確かめ、さまざまな文字に活 かそうとしている。 ● 行書の特徴や用紙に対する文 字の大きさと配列を意識して 書いている。
12 3	3 楷書か行書か を選択して 書こう 4時間	目的や必要に応じて、楷書で書く 場合と行書で書く場合があること を理解する。 使いたい書体と筆記具を選び、学校 行事と関連するポスターなどを書 く。 これまでに学習したことを意識し て、楷書とそれに調和する仮名、行 書とそれに調和する仮名で書かれ た季節の言葉を硬筆でなぞる。	●				●	行書に調和する仮名の筆使い や字形を意欲的に確かめよう としている。 ● 行書に調和する仮名の特徴を 意識して、行書との調和を図り ながら書いている。 ● さまざまな場面で書かれた文 字の例を比較し、目的や必要に 応じて、楷書で書く場合と行書 で書く場合があることを理解 している。 学習したことを生かし、楷書と 行書を選択して、意欲的に書い ている。 これまでに学習したことを生 かして季節の言葉を書くこと に興味をもって取り組んでい る。 ● これまでに学習したことを理 解している。 (観察・ワークシート・作品 により評価)